

令和3年度秋田県放課後児童支援員認定資格研修 研修レポート抜粋

(誤字脱字等については校正しているため、原文と異なる場合があります)

県南会場

科目 ⑫学校・地域との連携

- ◆ 放課後児童支援は保護者、学校、地域との連携が必要だ。小学校では教頭先生が窓口となり相談対応をしてくださるとのこと。小学校との情報交換や情報共有は日常的、定期的に行うことが必要となる。また、新1年生を迎えるにあたっては、保育、幼稚園との連携も大切となる。その子の発達と生活の連続性を保障するための連携だ。入学前は生活や遊びが中心だが入学後は教科教育が中心となり、その変化に対応できない子どもも最近は増加しているそうだ。気持ちが抑えられない、周囲とトラブルを起こす等々。そこにはお医者様の支援を必要とする子もいる。支援員ができることには限界がある。そのため、保護者、学校、保育園、幼稚園、地域との連携を深め、子どもたちを少しでもいい方向に育てていけたらと思う。

- ◆ 学校、保育園、地域などとの連携の必要性について学びました。私が勤務している児童クラブでは学校との連携がほとんど出来ていないため、定期的に情報交換の場を設けられるようにしていきたいと思いました。連携することにより、児童を全体で見守ることができ、より安全安心な保育・教育ができると思います。職員で話し合い、連携について再確認し、今後に役立てていけたらと思います。

- ◆ 学校との連携は子どもの安全、育ちに大切なやりとりなので、この先も情報交換、情報共有のための連絡等を密にして関わっていきたいです。資格には社会的責任が伴います。説明責任、結果責任。学校・保育園・地域・保護者とともに、子どもたちを様々な立場で、多方面から育てるために連携を大切にし、子どもたちの笑顔を支えていけるように頑張っていきたいと思いました。

- ◆ 私には難しい内容の講義でしたが、とても分かりやすく、新たに学んだことが多くあり良かったです。特に気になったのが「連携」チェックです。チェックが付けられない項目ばかりで基本ができていないと反省しました。例えば「子どもと保護者が一致している」にも自信を持ってチェックを付けられませんでした。コロナ禍で保護者の迎えもインターホン対応で、スムーズにはいきませんが、知ることの努力はしなければと痛感しました。

- ◆ この科目で学んだことは、学校や保育所、幼稚園、その他地域住民や関係機関等々との連携の必要性和あり方です。理解できたことは、連携の中で重要、大切なのは各機関との情報交換と情報共有だということです。私が勤務する児童クラブでは今日学んだ内容についてきちんとできていると思ったので、これからも学んだ内容を忘れないよう仕事に取り組んでいきたいと思っています。